

【様式1】

団体名 豊見城市立豊見城小学校	連絡先 TEL：098-850-5377 Eメール：tomisyo@city.tomigusuku.okinawa.jp
--------------------	---

1 実践事項 (2)

タイトル：「確かな学力を身につけ、主体的に学びに向かう児童の育成」

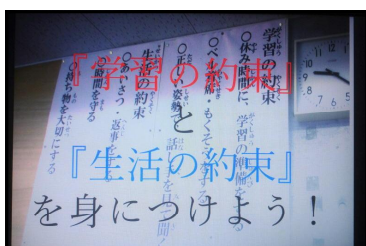
2 実践内容

- (1) 学習を支える力の育成（そろえる実践）
- (2) ジンブナータイムの充実と年間を通じた継続的な補習指導の充実

3 説明資料

- (1) 学習規律を意識化させる取り組み

朝会を活用し、「学習の約束」、
「生活の約束」をスライドショーで確認

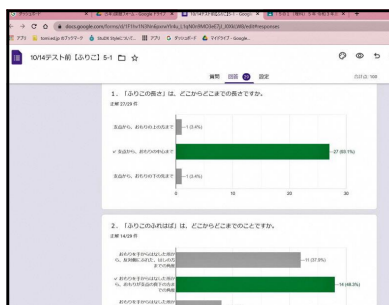


- (2) ジンブナータイムの活用

基礎・基本のドリルで繰り返し学習



- (3) タブレットの効果的な活用
問題の結果を共有



- (4) 漢字学習の取り組み

年3回の「漢字朝会」の実施で楽しく漢字
をマスターする取り組み



4 成果

- タブレットを効果的に活用することで、児童が機器に慣れ親しみ、主体的に取り組む姿が見られた。
- ジンブナータイム（朝の自習）を活用し、基礎基本が身に付きつつある。
- グーグルのフォームを使うことで、問題の結果がすぐ反映し、児童と共有することで、学習の定着を深めることができた。
- 全児童で漢字朝会取り組むことで、読み書きの意識づけを全校体制で充実させることができた。

5 課題

- 基礎基本の定着を図る取り組みを継続する必要がある。
- 教職員のオンラインで使うデジタル教材の活用技術の向上と、それらを職員間で共有する時間が必要である。
- 国語の学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるよう、国語の学習を中心に漢字・語彙（特に同音異義語）の学習に力を入れていく必要がある。